

CDP会計

受講対象 経済学科・経営学科

CDP会計では、大学で学びながら会計の専門性を高めて「税理士国家試験」合格を目指します。学部と大学院が連携した最大6年間の学習プログラムで、進路や学習状況に応じてコースが選択できます。簿記の経験にあわせて受験コースをセレクトできるので、無理をすることなく会計職(経理・財務・税務職)の専門性を高めることができます。

税理士=経営者のパートナー



税務の専門家として公正な立場から納税者の税務相談や、税務会計の適切な指導を行う国家資格。3つの独占業務が定められ、社会的に高い地位が確保されている。

税理士になるには?

受験資格

次のいずれかを満たしていること

- ① 学歴：大学卒・短大卒または大学3年以上で決められた科目の必要単位数を取得している
- ② 職歴：会計業務の実務従事期間が2年以上
- ③ 資格：日商簿記1級または全経簿記上級の合格者

受験科目(下記の科目より5科目の合格が必要)

必須※1		選必※2		選択						
簿記論	財務諸表論	法人税法	所得税法	消費税法	国税徴収法	相続税法	住民税	酒税法	事業税	固定資産税

※1 必須科目:必ず取得しなければならない
 ※2 選択必須科目:どちらか取得しなければならない

科目合格制度

5科目取得するのに時間制限がなく、何年かけてもよい。合格した科目は一生有効で、期限の定めはない。

CDP会計は修士に関する試験科目免除制度を活用できる

CDP 会計の学習科目		
会計科目(必須)		税法科目
簿記論	財務諸表論	科目選択

簿記論・財務諸表論・税法1科目
3科目合格を目指す

大学院の修士論文(税法)により
残りの2科目は免除

※時期は前後して良い

CDP 会計では、大学院の税法関連の修士論文により税法科目免除制度を活用しています。これにより、在学期間中にある4回の受験チャンスの中で3科目合格を目指します。科目の再履修も可能です。残りの税法2科目は修士論文審査に合格することで免除されます。

4年間の履修スケジュール

受講コースの選択	簿記初級コース(会計基礎)	簿記初學者/全経簿記3級、全商簿記3級のいずれか取得者
	簿記中級コース	会計基礎受講者/日商簿記3級、全経簿記2級、全商簿記2級のいずれか取得者
	簿記上級コース	日商簿記2級(推奨)、全経簿記1級、全商簿記1級のいずれか取得者
	税理士科目コース	日商簿記2級程度の学習経験者

1年次	簿記マスターコース	会計職の前提知識として簿記を学習します。初學者でも学習できるコースから、社会人として求められる2級、簿記の最高峰資格である1級まで目指すことも可能です。簿記をマスターし、2年次からの応用学習に備えます。
1年次	【前期】簿記初級コース 基礎科目 ■ 会計基礎 + 1科目以上選択	【後期】簿記中級コース ■ 財務会計基礎 ■ 原価計算基礎 (日商簿記3級・2級取得目標)
	【前期】簿記中級コース 基礎科目 ■ 会計基礎を除く1科目以上選択	
	【通年】簿記上級コース ■ 財務会計応用 ■ 原価計算応用 (日商簿記1級、全経簿記上級取得目標)	
※上級コースは中級コース終了後の学習も可能		
2年次	2年次~3年次 税理士簿記論	税額の計算が税理士の中心業務ですが、その前提として簿記の知識は不可欠です。2時間の試験で3問が出題され、ボリュームが多く計算力とスピードが要求されます。じっくり時間をかけ合格力を養成します。
2年次	5月~12月 簿記論基礎期	翌1月~3月 簿記論応用期
	翌4月~7月 簿記論直前期	翌8月初旬 税理士試験合格発表: 12月中旬
※複数科目の組み合わせも可能		
3年次	3年次~4年次 税理士財務諸表論	企業報告書として作成する財務諸表(貸借対照表・損益計算書)の考え方(理論)と作成方法、手続(計算)を学びます。試験は2時間の試験で理論と計算に分かれて出題され、計算力とともに理論問題への対策が必要です。
3年次	9月~12月 財表論基礎期	翌1月~3月 財表論応用期
	翌4月~7月 財表論直前期	翌8月初旬 税理士試験合格発表: 12月中旬
※複数科目の組み合わせも可能		
4年次	4年次~大学院 税理士税法科目(通信)	会計科目2科目は必須科目ですが、その他税法は9科目の中から選択します。通信講座とメンター講師によるサポートプログラムにより、自宅学習や学習相談を個別に指導しますので、卒業後も学習をサポートできる体制です。
4年次	9月~12月 税法基礎期	翌1月~3月 税法応用期
	翌4月~7月 税法直前期	翌8月初旬 税理士試験合格発表: 12月中旬
サポートプログラム(全10回)		
※複数科目の組み合わせも可能		
随時	その他 オプション講座	会計職養成のため、その他関連資格の取得や実践講座を実施しています。
随時	【勉強会の実施】 重要論点の整理や解法の確認など合格者と一緒に勉強できる機会です	【職業研究会の実施】 法人・個人の経営者、実務家、卒業生を招き、仕事内容や受験対策などを聞ける機会です
	【検定試験】 税理士試験終了後税法の基礎学習を行います(法人税、所得税、消費税)	